

実物大の石畳、照明を実感

神門通りの道づくり

其の九

平成 23 年
9 月 20 日

島根県
出雲県土整備事務所
都市整備グループ
電話：30-5666

第二回デザインワークショップ

八月二十七日(土)の夜、大社文化プレイスうらら館にて、第二回デザインワークショップを開催し、神門通りの石畳や路面のデザイン、照明などについて議論しました。



実物大の石畳の上で説明する小野寺氏



フットライトのデザイン案



街路灯のデザイン案

第一回のワークショップでは、設計者から通りの模型、照明の模型の提案をもとに議論を行いました。今回は会場のうらら館から、吉兆館前、そして神門通りに参加者全員が移動し、実物大の石畳、照明を実感した上で、議論を行いました。

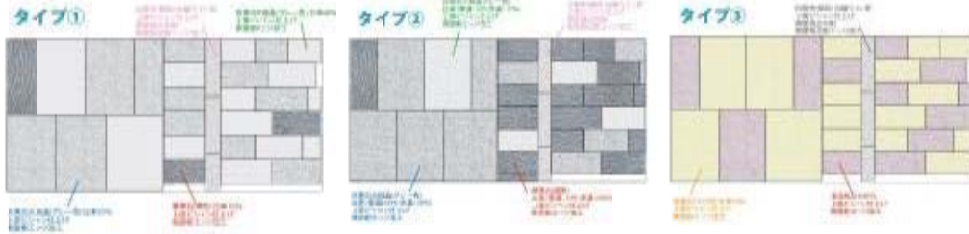
この日は、地域の住民の方々を中心に百名近い参加となり、桑子俊雄教授のコーディネート、道路の景観デザイナーの小野寺康さん、照明デザイナーの南雲勝志さんからの説明のもと、熱の入った議論が展開されました。参加者からは、「石畳が水に濡れると、風情がある。夏には打ち水すればさらに風情あり。」「松葉形の照明がとても素敵で雰囲気がある。」など様々な意見が出されました。第三回目となる次回ワークショップは、十一月二日の開催を予定しています。



夜間の明かりのイメージ

舗装デザインについての意見

歩車道舗装の色彩 3タイプ



○: 賛成意見 !: 疑問、提案 △: 反対意見

石畳タイプ①について

●タイプ①がよい

○①の色・配色が良い。厚さも80cmあり、雑草対策もしてある。

! 車道と歩道を明確に分けないデザインなので黒色比率は同じ方が（タイプ①）良いと思った。タイプ③は白線部分が同化してわかりづらかった。

○石畳タイプは①が良い。歩行者の範囲がはっきりしていた方が歩行者・車共に安心感がある。

●白線がわかりにくい

△白線がわかりづらく危険な気がする。

●街並との調和

! 建物、店舗との調和を考慮して欲しい。まちなみ条例で黒っぽい建物が多い。

△道路が暗いイメージになる。

●雨のとききれい

○雨に濡れた時の石の表面の変化がとてもきれい。

○落ち着いた色合いで、雨などで濡れたときもきれい。

●その他

・シェアドスペースとしては良い。

・色はタイプ②、肌合は①が良い。

・騒音は大丈夫か？

石畳タイプ②について

●タイプ②がよい

○白線もはっきりしており、にじみ出しも効果があると思われる。

○黒が多いと白いラインが目立ち、歩行者と走行車が安心して通行できる。

○なるべく白線が目立った方が良いと思う。②が一番わかりやすい。

○白線との見分けが付きやすいから、事故も少なくなると思う。

○白線がわかりやすい。鳥居が白なので黒い路面の方が映える。

●色がよい

○交通広場付近の店舗が黒っぽいので一体感がある。

●しみ出しが心配

! しみ出しによって歩行者は「はみ出ても良い」と勘違いしないか？

! 車道に歩行者が広がりすぎるので危ない。しみ出しを控えた方が良い。

●その他

○石畳が水に濡れると、風情がある。

! 夏には打ち水をしたら風情あり。

! 歩道部が明るい方が良い。

! 少しキツイ感じがする。うすい色でも良いと思う。

! 色がはっきりしていて安心感はあるけど、冷たい感じもある。

石畳タイプ③について

●タイプ③が良い

○タイプ③は濡れた時に出雲大社のイメージが一番合っていたと思う。

○参道の雰囲気が良い。

○松の木に合う。歩道の方をもう少し濃い色にしたら良いと思う。

○パツと見たときにあたたかい感じを受けた。

●区別つきにくい

△歩道と車道の区別が付きにくい。

△雨に濡れたときはきれいだが、普段少しぼんやりした印象だった。

△白線が分かりづらい。白線だと理解してもらえないか。

●似合わない

△見た目でインパクトがなさそう。

印象薄い。

△明るすぎて神門通り出雲大社のイメージに合わない気がした。

△周りの家の瓦が黒が多いので、白や赤が入ると勢溜から見て一体感がない。

△汚れが目立つのではないか。

石畳の表面加工について

●スリップが心配

! 氷点下の時、できるだけスリップしない様方がいい。

! 松の部分から砂や土が広がると、乾いている時は滑るのでは？

! 海岸からの飛砂が石畳に降り、スリップしやすくなるのではないか。

●磨耗・耐久性について

! 石の磨耗が気になる。年に0.2ミリ磨耗すれば50年で1センチ減る。

ビシャンについては数年でなくなる。

! 石畳の耐久性は？長年で剥げたり割れたり欠けたりしないのか？

●仕上げの仕方について

! 表面仕上げについて、ビシャン仕上げよりもっと荒いノミ仕上げで。

! 歩道と車道の仕上げを分けては？

●その他

! 千気国造家前の道路は、石畳になって照返し強くなったとの声があった。

! 歩道をタイプ③として、車道をタイプ①にするのはどうだろうか？

! 大正時代にあった石をどこかに組み入れてはどうか？

! 歩道の石のいくつかにハートが何か彫れないか？

照明・車止めについての意見

街路灯について

●デザインについて

○照明のデザインは素晴らしい。

○松葉型の照明がとても素敵で、雰囲気がある感じがした。

○松の木との高さバランスが良い。

○二股に分かれているのが景観にも合っている。

! 照明は現地の素材を使って考えてほしい。松等とスケール感を見て。

△シンプルすぎる（もっとミステリアスデザインを）。

●設置の間隔

! ライト間隔は30mが良い。フットライトもあるのでもっとしっかり見える。明るすぎず暗すぎない。

! ライトの間隔20mは明るすぎる。明るすぎると神聖な感じが出ない。

! 思っていたより明るいので、間隔は長い方が良い。

! 20m間隔で置くのが良い。

! 提示されたデザインでは、木と木の間に設置せざるを得ない。2～30m間隔で設置すると、ほとんどの設置地点で住民の反対に合うだろう。

●設置数

! 照明灯の数は少ない方が良いと思う。薄明りという雰囲気が出雲大社は合うのではないかと。

△照明と松で歩道を占有しすぎる。デザインも大事かもしれないが本筋の道路利便性を優先してもらいたい。

●高さ

! ライトの高さが低いと思う。上部のLEDの所が明るすぎる。

! 照明がうちの前に設置されるのは勘弁してほしい。

! 高さが2F窓とかかかっている問題ないか？虫が集まり困る。

! 意外と高いので驚いた。サンプルより30cm低いとしても高いと感じた。

フットライトについて

●材料

○鋳鉄が良い

! フットライトは石製が良い感じ

! フットライトの素材は来待石を。

●いる？いらない？

△フットライトは歩行者の邪魔になると思う。

△フットライトはいらない。街路灯があると明るすぎて、今の大事な雰囲気が出ない。

●デザインへの意見提案

○フットライトは良い。今少しずつ増えている石像とのコラボはどうか。

! フットライトは車に踏まれてもOKな埋め込み型は考えられないか？

! フットライトに椅子の機能を持たせてはどうだろうか？

! フットライトは昼間も目立つと思われる。デザインをもっと出雲大社らしさを出しても良いのでは？

! 松の木も街路灯もスリムな形なので、フットライトももう少しスリムなデザインの方が合うのではないかと？

! フットライトを街路灯と一体化にしたらどうか。

照明光源について (明るさ、色など)

●LEDの使用

○LED 賛成。街灯の電気代は町内会負担なので軽減される

! LEDの電球色は実際はかなり昼光色に近い色合いになるはず。あたたかみを出す工夫はどうか？

●光源

! 照明の光源が上すぎる。横から中央にしてはどうか？

! フットライトの光源の高さが低い。

! フットライトの光をもう少しと拡散させて。神聖的な感じで。



歩道照明灯デザイン

●明るさについて

○思ったより明るく、電球色なので夜でも歩いてみたくなる感じがした。!

! 明るさは今よりも少し落とした方がよいと思う。

! 外灯について、グレアが強い。せっかくの電球色がちよっと・・・

! もう少し明るい良い。デザインはスッキリして良い。

! 光源が強い。もっとボンヤリした光でいいと思う。

△思っていたより明るい分、近所の方の生活への影響が気になる。(就寝時にまぶしいのでは?)

車止めについて

●素材

! 車止めはゴムが良い。

●要望

! 裏にも神門通りと書いて欲しい。

! 大きなライトで刻まれている文字を照らして、暗くても見えるようにして欲しい。

うらら館での意見交換

石畳について

Q 付箋の質問 - 石張りのデザインについて

A 小野寺氏回答

- ・神門通りは黒瓦と伝統建築の風情の家に改修されていくと思うので、道のデザインも家並みに馴染む方向がいいと思う。
- ・将来車はもっと少なくなると思う。そうなった時に、歩道、車道という境目はあまりはつきりしない方がいいのではないかと思います。

Q 付箋の質問 - 騒音について

A 小野寺氏回答

- ・道路の目地の幅が騒音の原因になる。以前は一般に1センチメートルであったが、現在は5ミリメートルで、その場合、騒音はかなり小さい。

Q 付箋の質問 - にじみ出しについて

A 小野寺氏回答

- ・津和野町の本町祇園通りの設計では、白線の内側ギリギリまで歩道をにじみ出させた結果、以前より安全になった。歩道のほうが主体であると一見して見えるので、歩行者が白線を越えて歩くこともある。そうすると、自動車はスピードを落として走らざるをえない

Q 付箋の質問 - 摩耗耐久性について

A 小野寺氏回答

- ・もっとも硬い、つまり最も耐久性がある素材が石だ。中でも御影石は硬くて耐久性がある。したがって、磨耗に関しての心配は少ないと思ってい。
- ・ほかに、福光石・来待石等、舗装に使うとしてとりとしていい石はあるが磨耗する。植栽の場所に使えないかと考えている。

Q 付箋の質問 - スリップについて

A 小野寺氏回答

- ・凍結によるスリップに関してはどんな舗装材でも駄目である。凍結に関して大丈夫と言う舗装材はない。

Q 会場から質問 - 津和野の変化は？

- ・津和野の道路整備の結果、自動車、歩行者の変化はどのようだったか。

A 小野寺氏回答

- ・歩行者の通行量は増えたが自動車は増えてはいない。元々車の通行量の少ない通りであったが、同時に歩行者もあまり通らなかつた。
- ・そこを石畳の道にすることによって、歩行者が多く歩くようになった。

Q 会場から質問

- 車が来にくくならないか

- ・自分は神門通りに店を構えている。観光とは関係のない商売だ。自分の商売のお客様の自動車が通りにくいということであらねなくなったら困る。

A 小野寺氏回答

- ・神門通りに車でくるお客様にも神門通りを歩いて楽しいと思っていただけるようにすることのほうが、長い目で見たらいいのではないかと。
- ・松山城のロープウェイ通り整備の設計に以前関わったが、歩道と車道の段差を無くして、歩道はレンガ色、車道もレンガ色にしてなじみのいい感じにした。そして歩道を広げて段差無しの方通行にした。結果は、お客様が大幅に増えてシャッター通りだった商店街がシャッターゼロになった。

照明について

Q 付箋の質問 - 明るさについて

A 南雲氏回答

- ・明るすぎるのではないかという意見があったが、自分もそう思った。もう少し暗くしたら、という意見を尊重して、照度を下げたり、ぼんやりした感じの明かりにする、あるいは街灯の高さの調整など、技術面で解決できると思う。
- ・近隣の民家からの明るさの問題への対応も、それに関連してくる。
- ・虫と言うのは紫外線に寄ってくるものがほとんどで、LEDの場合、紫外線がないのでほとんど心配がない。

Q 付箋の質問 - フットライトについて

A 小野寺氏回答

- ・フットライトがあつて歩きづらいのではないかという意見があったが、その心配は少ないだろう。松の木の周辺に人が歩けない場所を作りその中にフットライトを入れ込む予定である。大きさについては、もう少し目立たない小型な方向でもいいかなと思った。

Q 付箋の質問 - 照明の高さについて

A 南雲氏回答

- ・民家の二階の高さになるという意見だが、照明のデザインが松葉のような形にしたのは、民家のほうに光がいかないようにという意味合いもあった。
- ・光が横にいかずに道路方面の縦方向にだけあたるよう、光学的なコントロールがある程度できるので、設計のほうで改良を進めていく。
- ・それらの工夫をふまえて最終的に確認していただきたいと思う。

今後について

● 小野寺氏から

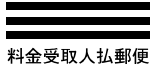
- ・石畳は1ヶ月くらいそのまま置いて展示しておくので、いつでも見ていただける。それらについての意見も、PR館に書いていただける場所がある。
- ・一畑電鉄駅の隣にタクシーがあるが、そこがなくなって公衆トイレと休憩所もついた公共的な広場になる。駅舎の中にカフェテリアとオープンカフェもできる計画が進んでいる。
- ・次回は模型を作って、最終形を皆さんに可能なかぎりわかりやすい形でお伝えしたいと思っている。

● 桑子教授から

- ・このような社会実験を実施するという事は非常に珍しい。皆さんの意見を設計にできるかぎり反映させていきたい。



うらら館 ご縁ホールでの意見交換



料金受取人払郵便



差出有効期間
平成 24年
3月31日まで
切手はらずに
お出してください

郵便はがき

6 9 3 8 7 9 0

065

出雲市大津町1139番地
島根県出雲県土整備事務所
土木工務部 都市整備グループ 行



該当するものに○をつけてください

- ①住所 a. 神門通り近隣 b. 大社町内 c. 大社町外
- ②性別 a. 男性 b. 女性
- ③年齢 a. 20歳未満 b. 20歳代 c. 30歳代
d. 40歳代 e. 50歳代 f. 60歳以上
- ④職業 a. 会社員 b. 自営業 c. 農業
d. 公務員 e. 主婦 f. 学生 g. その他 ()

名前 _____ 〒 _____ 住所 _____ 電話 _____

スケジュール

第1回デザインワークショップ
デザイン計画案を提示して意見、アイデアを抽出する
平成 23年 6月 24日実施

今回

第2回デザインワークショップ
第1回での意見を踏まえた計画案修正と現地での石材、
照明模型による確認
平成 23年 8月 27日実施

第3回デザインワークショップ
デザイン計画最終案を提示して整備に向けた合意形成を
はかる
実施時期：10月予定



神門通りPR館の外観



神門通りの整備後のイメージを紹介

神門通りPR館の 様子です



神門通りPR館内部の様子



PR館では観光案内も実施

神門通りPR館に お越してください

神門通りの「舗装」「照明」「坂道」
のデザインをご紹介します。

PR館では詳細なデザイン計画や、これまで
行われてきた住民の方々とのワークショ
ップに関する情報をお伝えしています。

将来の神門通りの姿をイメージした模型
をご覧ください。

アンケート調査を行っています。
まち歩きや道づくりに関するご意見をお聞
かせ下さい。

工事情報の提供を行っています。
工事に関する要望や意見も承ります。



アンケート回答用紙

- 質問① 神門通りについてのご意見をお書き下さい
- 質問② ワークショップや計画の進めかたについて
ご意見をお書き下さい
- 質問③ ご自由に意見をお書き下さい

開館日：平成 23 年 7 月 20 日～平成 24 年 3 月 31 日

※期間中、都合により PR 館をお休みする日もあります。

開館時間：平日 9 時～ 16 時／土・日・祝日 9 時～ 17 時

<お問い合わせ先>

島根県出雲県土整備事務所 都市整備グループ 0853-30-5665

出雲市役所観光交流推進課 観光政策係 0853-21-6588

出雲市役所まちづくり推進課 大社門前町整備室 0853-21-6737

交通広場



出雲大社



北井食堂

PR館
(岩井屋)